

## 第2章 接続期の考え方

### 1. 子どもの育ち、発達と幼保小連携の関係性

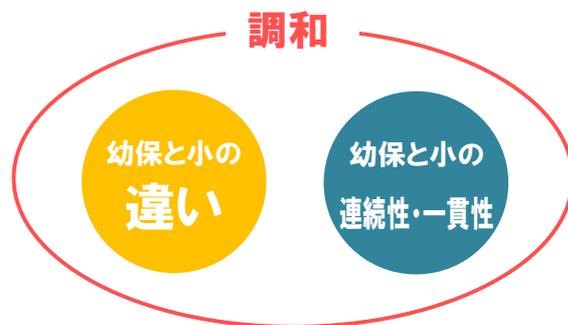
#### ●円滑な接続を考えるために

幼稚園・保育所と小学校の円滑な接続に向けては、就学前教育・保育と小学校教育における“違い”を理解することが大切です。子どもの発達段階の違いから、教育課程の構成原理や指導方法など、さまざまな違いが見られます。

一方で、子ども一人ひとりの育ちと学びは、就学前と小学校とではっきりとわかれるものではなくつながっているため、就学前教育・保育と小学校教育との連続性・一貫性を確保することが必要です。

これらを踏まえ、幼稚園・保育所と小学校の接続を円滑に行うためには、就学前教育・保育と小学校教育の違いと連続性・一貫性を調和させることが必要です。

保育者・教師などが、この違いと連続性・一貫性を理解し、調和をはかることを意識する中で、何をどのように接続させていくのかを考えることが大切です。



#### ●何を接続させるのか

接続期における教育・保育を考える際には、その目的・目標は連続性・一貫性のあるものとしてとらえることが大切です。すなわち、就学前教育・保育、小学校教育、また接続期における教育・保育では、その教育課程や教育活動が発達段階に応じて違いがあるものの、生きる力を育むことや本市のめざす「未来を切り拓く チャレンジする『八尾っ子』」を育てることにつながるものと考えます。

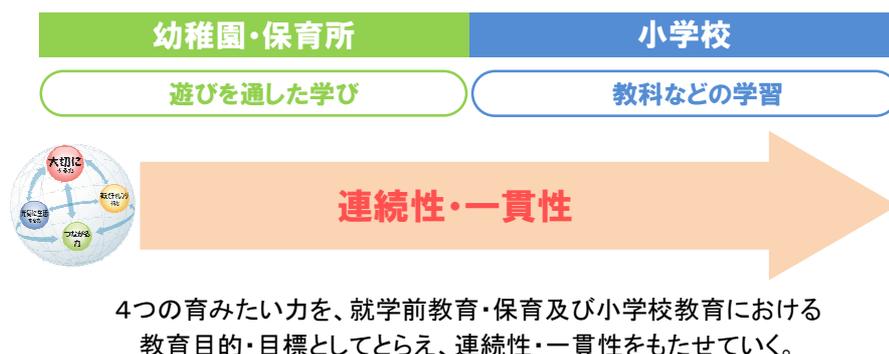
このことは、幼稚園教育要領、保育所保育指針、小学校学習指導要領、学校教育法で示されている教育の目的にあたる部分であり、その理念などは連続性・一貫性をもって構成されています。

教育目的・目標		
幼稚園	人格形成の基礎	(幼稚園教育要領)
保育所	人間形成の基礎	(保育所保育指針)
小学校	人間として調和のとれた育成 生涯にわたり学習する基盤を培う	(小学校学習指導要領) (学校教育法 第4章小学校)

その中で、本市では「就学前教育・保育実践の手引き」を作成し、八尾市のめざす「未来を切り拓く チャレンジする『八尾っ子』」や生きる力を育てることを見通して、4つの育みたい力を設定しています。

この4つの育みたい力は、就学前教育・保育が小学校以降の教育の基礎となる考えに基づき、就学前教育・保育及び小学校教育の教育目的・目標としてとらえることができます。

したがって、生涯にわたる人格形成の基礎や学びの基礎力を育てていくとともに、この4つの育みたい力の連続性・一貫性を確保していくことが大切です。



また、就学前教育・保育から小学校教育にかけては、発達段階を考慮し、幼児期の教育が遊びを通じた総合的な指導を行うのに対し、児童期の教育は各教科などの授業から構成されるという大きな違いがあります。

しかし、教育活動としては、ともに直接的・具体的な対象とのかかわりを重視している点で共通しています。具体的には、「人とのかかわり」と「ものとのかかわり」として整理されます。

「人とのかかわり」……自分とのかかわりや他の人・集団とのかかわり  
 「ものとのかかわり」……自然とのかかわりや身の回りのものとのかかわり

これらを踏まえ、特に接続期において、就学前教育・保育は今の学びが小学生になる時にどのように育っていくのかを見通すことが大切であり、小学校教育はこれまでの学びがどのように培われてきたのかを確認することが大切です。幼保小連携を通して、保育者と教師が子どもの育ちや学びの見通し・確認を共有することで、円滑な接続につながると考えられます。

参考文献：幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議  
 「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」平成 22 年 11 月

## 2. 4つの育みたい力の連続性と一貫性

幼稚園・保育所(おおむね5歳児)		
	要素	内容
大切に する力	自尊心・自信・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な大人との信頼関係を築いて安心して生活し、自分や他の人を認める。</li> <li>さまざまなことに自信をもって積極的に取り組む。</li> <li>何かができる時に喜んだり、自分を褒めたりする気持ちをもつ。</li> </ul>
	興味・関心・気づき・ 親しみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な環境にかかわり、さまざまなものや出来事に興味・関心をもつ。</li> <li>身近な動植物に親しみ、生命の尊さに気づいて大切にす。</li> <li>自然を見たりふれたりして、その美しさ・不思議さに気づく。</li> <li>身近なものを大切にす。</li> </ul>
	道徳性・思いやり・ 感謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や身近な大人からの愛情を受け、親しみをもってかかわる。</li> <li>家族や友だちの大切さに気づき、感謝の気持ちや思いやりをもってかかわる。</li> </ul>
元気に 生活する力	自立・自主性	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身につけ、自分で考えて行動する。</li> <li>落ち着いて生活する中で、身の回りのことを自分でする。</li> </ul>
	生活習慣・生活リズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>早寝・早起き・朝ご飯など、健康な生活リズムを身につける。</li> <li>一日の生活の流れを理解し、意識して行動する。</li> </ul>
	規範意識・ルール・ 安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと楽しく遊ぶためのルールがわかり、守ろうとする。</li> <li>良いことと悪いことに気づき、自分で判断して行動する。</li> <li>危険な場所や遊び方、災害時などの行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。</li> </ul>
	発達・運動・遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かす心地良さを感じる。</li> <li>友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わい、積極的に戸外へ出て体を動かす。</li> <li>主体的に遊びを見つけて取り組み、遊び込む。</li> </ul>
	食事・食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物に興味・関心をもち、自分から進んで食べる。</li> <li>食べ物のおいしさや食べる喜びを知り、楽しんで食事をする。</li> <li>食べ物や食べることの大切さに気づき、残さず食べようとする。</li> </ul>
つな がる力	話す・伝えあう・言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の経験したことや感じたこと、思い、考えなどを自分なりの言葉で表現する。</li> <li>わからないことや困ったこと、嫌なことを、身近な大人や友だちにはっきり伝える。</li> <li>言葉を交わす喜びを味わい、言葉による伝えあいをす。</li> <li>あいさつを交わしたり、返事をしたりする心地良さや大切さを知る。</li> </ul>
	きく・理解する・くみ取る	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の話を落ち着いて最後まできく。</li> <li>人の話を集中してきき、理解しようとする。</li> <li>表情や動きから、相手の思いをくみ取ろうとする。</li> <li>絵本や物語などに親しみ、興味をもってきく。</li> </ul>
	共感・折りあう・協同性	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと積極的にかかわる中で、喜びや悲しみを共感しあう。</li> <li>相手の考えを理解し、相手の気持ちに共感する。</li> <li>トラブルや葛藤する体験を通して、相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを調整することで、折りあいをつける。</li> <li>友だちと楽しく活動する中で、共通の目的に向かって工夫したり協力したりする。</li> </ul>
考 えて チ ャ レ ン ジ す る 力	挑戦・達成・ねばり強さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めてのことや苦手なことにも、積極的に挑戦しようとする。</li> <li>失敗してもあきらめずに、最後までやり遂げようとする。</li> </ul>
	意欲・好奇心・ 探究心・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまなことに好奇心をもって意欲的に取り組み、その性質やしぐみに興味をもって探究しようとする。</li> <li>日常生活の中で、文字や数量・図形などに関心をもち、遊びに取り入れようとする。</li> </ul>
	感性・表現・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で、美しいものや心を動かすことに出会い、イメージを豊かにする。</li> <li>感じたことやイメージしたことを自分なりに工夫して、かいたりつくったりすることを楽しんだり、音や動きなどで表現したりする。</li> </ul>

就学前で定めた  
4つの育みたい力が、  
就学後にはどのように  
発展しているか。

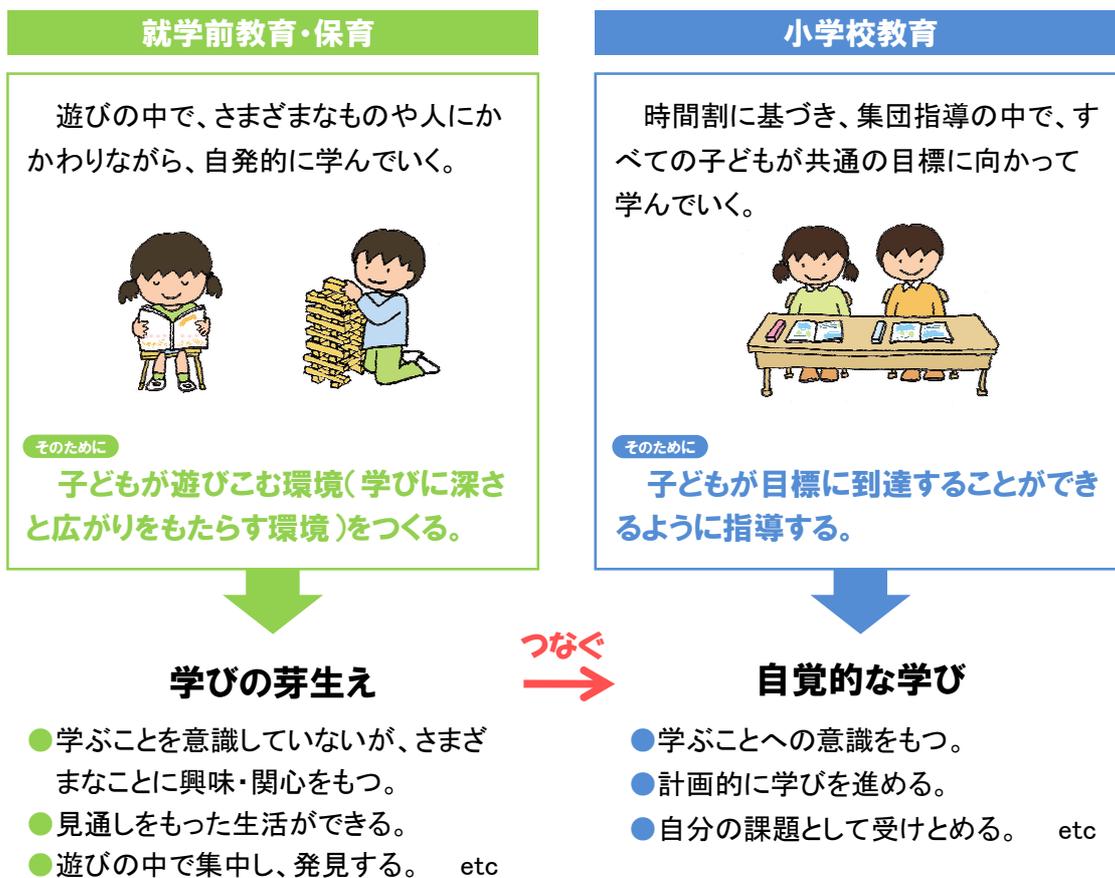
小学校1年生(おおむね1学期)

内容	要素	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの一員としての意識をもち、友だちと過ごすことを楽しむ。</li> <li>・教師との信頼関係を築き、安心して登校する。</li> <li>・新しい環境に慣れ、主体的に行動する。</li> <li>・学校生活の中で、何かができた時に認められたり、達成感を味わったりする。</li> </ul>	自尊心・自信・安心	大切に する力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検や地域散策を通して、学校や地域に愛着をもつ。</li> <li>・学習活動に興味・関心をもって、意欲的に取り組む。</li> <li>・世話をしたり、観察したりして、身近な動植物に親しみ、生命の尊さに気づいて大切にす。</li> <li>・学校内外の自然にふれ、季節を感じる。</li> <li>・公共のものの使い方を知り、大切にす。</li> <li>・学習教材や教室、身近なものを大切にす。</li> </ul>	興味・関心・気づき・ 親しみ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人たちに親しみや思いやり、感謝の気持ちをもってかかわる。</li> <li>・あいさつの意味を知り、正しく使う。</li> <li>・自分から進んで身近な人たちにあいさつをする。</li> </ul>	道徳性・思いやり・ 感謝	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割やチャイムによる区切りが定着し、次の授業を意識しながら行動する。</li> <li>・机の中の整理整頓をする。</li> <li>・着替えや準備を自分でしようとする。</li> </ul>	自立・自主性	元気に 生活する力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を知り、自分から進んでしようとする。</li> <li>・時間割を見て、準備したり、次の行動に移ったりする。</li> <li>・休み時間と授業時間の切り替えができ、集中して授業を受ける。</li> </ul>	生活習慣・生活リズム	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びのルールや遊びの楽しさがわかり、自分たちでも遊びが進められる。</li> <li>・新しい友達と自分からかかわり、友だち関係を広げる。</li> <li>・良いことと悪いことがわかり、友だち同士で声をかけあいながら、注意することや約束事を守る。</li> <li>・登下校時の危険な場所を知り、安全に気をつけて行動する。</li> <li>・避難訓練を通して、安全に避難することを知る。</li> </ul>	規範意識・ルール・ 安全	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育のルール(並び方、準備体操、道具の片づけ)を守って、体を動かす。</li> <li>・全身を使って遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・休み時間は友だちと声をかけあい、運動場で体を動かして遊ぶ。</li> <li>・係の子が中心となって遊びを考え、他の友だちに伝えて一緒に楽しむ。</li> </ul>	発達・運動・遊び	つながる 力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・献立に興味や関心をもち、給食を残さずに食べる。</li> <li>・クラスの友だちと一緒に、楽しい雰囲気の中で食べる。</li> <li>・食材やそれを育てた人に感謝の気持ちをもち、好き嫌いなく食べようとする。</li> </ul>	食事・食育	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時(いつ)・場(どこで)・人(誰と)など、話す内容をわかりやすく順序立てて話す。</li> <li>・困ったことを具体的に伝え、解決の糸口を考えようとする。</li> <li>・友だちを意識しながら、文字や言葉で伝えようとしたり、一緒に考えたりしようとする。</li> <li>・係や当番活動の中で適切な言葉を用いて、返事をしたり会話を進めたりする。</li> </ul>	話す・伝えあう・言葉	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を意欲的にきこうとする。</li> <li>・人の話を集中してきき、話の要点を理解する。</li> <li>・互いの個性を認めあいながら、相手の思いや考えをきこうとする。</li> <li>・教科書に興味をもち、その内容を読み取ろうとする。</li> </ul>	きく・理解する・くみ取る	考えて チャレンジする力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友だちなどと学ぶ楽しさを共有し、協同的に活動する。</li> <li>・相手の考えを理解し、相手の立場になって物事を考えようとする。</li> <li>・自分の納得いかないことがあっても、自分で気持ちを調整し、前向きに物事を進めようとする。</li> <li>・遊びや学習の中で、友だちと励ましあいながら進める心地良さを感じる。</li> </ul>	共感・折りあう・協同性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく学習する内容を積極的に理解して習得しようとする。</li> <li>・間違えたことやわからないことも、あきらめずに最後までやり遂げようとする。</li> </ul>	挑戦・達成・ねばり強さ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友だちの話すことをしっかりときいて理解しようとし、自分の考えを伝えたい時には積極的に手をあげて発表する。</li> <li>・学習の中で文字や数字を使ったゲームなどを通して、ひらがなや数の正しい読みかきを習得する。</li> <li>・興味・関心をもって意欲的に学習や活動に取り組み、驚きや疑問、気づきなどから学びを深めようとする。</li> </ul>	意欲・好奇心・ 探究心・活用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・春探しや地域の散策を通して、草木や花、昆虫、日光、風などのさまざまな自然環境にふれ、そこで感じた美しさや不思議さ、気づきを表現する。</li> <li>・自分がイメージしたり、感じたり、考えたりしたことを、文字や数、図形、絵画、音楽などを用いて工夫して表現し、丁寧に最後まで仕あげる。</li> </ul>	感性・表現・工夫	

### 3. 就学前教育・保育と小学校教育の特徴や違い

#### ● 「学びの芽生え」と「自覚的な学び」

就学前教育・保育は小学校教育の先取りではなく、基礎を築くものです。就学前教育・保育では、遊びの楽しさからくる意欲や集中、気づきなどの「学びの芽生え」を育むことが大切です。この学びの芽生えが、小学校教育において、各教科などの授業によって計画的に学習を進める「自覚的な学び」へとつながっていきます。



#### ● 主な教育・保育内容の違い

就学前教育・保育と小学校教育との主な教育・保育内容の違いを以下に示します。

就学前教育・保育	小学校教育
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「～を味わう」「～を感じる」などの方向づけを重視した『方向目標』。</li> <li>● 一人ひとりの生活や経験を重視した『経験カリキュラム』に基づく。</li> <li>● 環境、遊びを通した総合的な指導。</li> <li>● 楽しいことや好きなことを通して、さまざまなことを学ぶ。</li> <li>● 育ちの方向への近づきをみる「個人内評価」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「～ができるようにする」などの具体的な目標への到達を重視した『到達目標』。</li> <li>● 学問体系を重視した『教科カリキュラム』に基づく。</li> <li>● 教科などから構成される集団指導。</li> <li>● 学ぶ意識のもと、時間割にそって計画的に学習を進める。</li> <li>● 目標への到達水準をはかる「目標準拠評価」。</li> </ul>

## 4. 接続期に大切にしたい4つの視点

本手引きにおいては、接続期において大切にしたい視点を「就学前教育・保育実践の手引き」における小学校入学までに育みたい4つの力ごとにまとめています。それは、この4つの育みたい力が、接続期においても連続性と一貫性のある教育・保育実践に向けた重要な要素としてとらえられるためです。

「就学前教育・保育実践の手引き」では、4つの育みたい力の中でも、特に重要な力として位置づけたのが「大切にする力」です。乳幼児期に、自分も相手も周囲の人々やものも大切にする力を育むことは、その後健やかでたくましく心豊かに成長していくための基盤となると考えたためです。

一方で、小学校入学により、新しい生活環境や人間関係になり、また教科学習へ移行する中で、自分に自信をもって、何事にも積極的・意欲的に取り組んでいくためには、接続期や小学校入学後においても、それら「大切にする力」を特に重要な力として伸ばしていくことが必要だと考えます。

そこで、自己肯定感や相手などを認め、興味・関心をもってかかわっていくことの大切さを含めた「自分も相手も好きになろう！」を、接続期において特に大切にしたい視点として位置づけます。

また、この視点を基盤として、「自分で元気な生活をつくろう！」「きいて話して友だちをつくろう！」「学びを楽しもう！」をともに育てていくとともに、それら4つの大切にしたい視点をつながりのあるものとしてとらえることで、本市のめざす「未来を切り拓く チャレンジする『八尾っ子』」や生きる力を育てることにつながっていきます。

### 大切にする力

特に  
大切

#### 自分も相手も好きになろう！

自分や他人の良さを認め、何事（人・もの・こと）にも興味・関心をもってかかわる。

### つながる力

#### きいて話して友だちをつくろう！

人の話を良くきき、相手に自分の思いや考えを話すことができる。友だちや保育者・教師とかかわり、協同して活動しようとする。

### 元気に生活する力

#### 自分で元気な生活をつくろう！

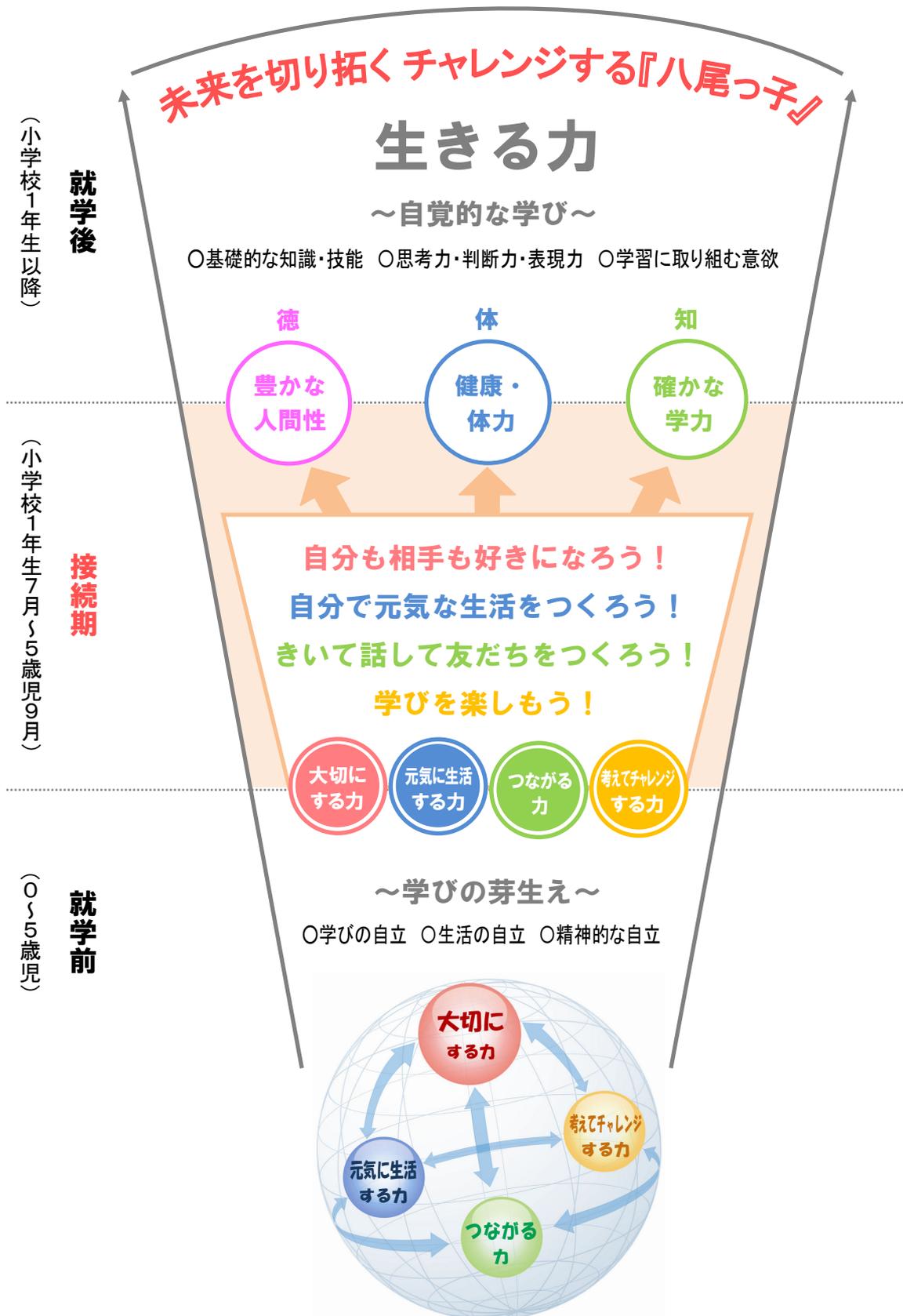
自立した生活習慣が身につき、規則正しい生活リズムの中で、時間を意識しながら元気な生活を送る。

### 考えてチャレンジする力

#### 学びを楽しもう！

文字や数の読みかきの習得や学習する姿勢など、学びの基礎力を身につけるとともに、楽しみながら意欲的に取り組もうとする。

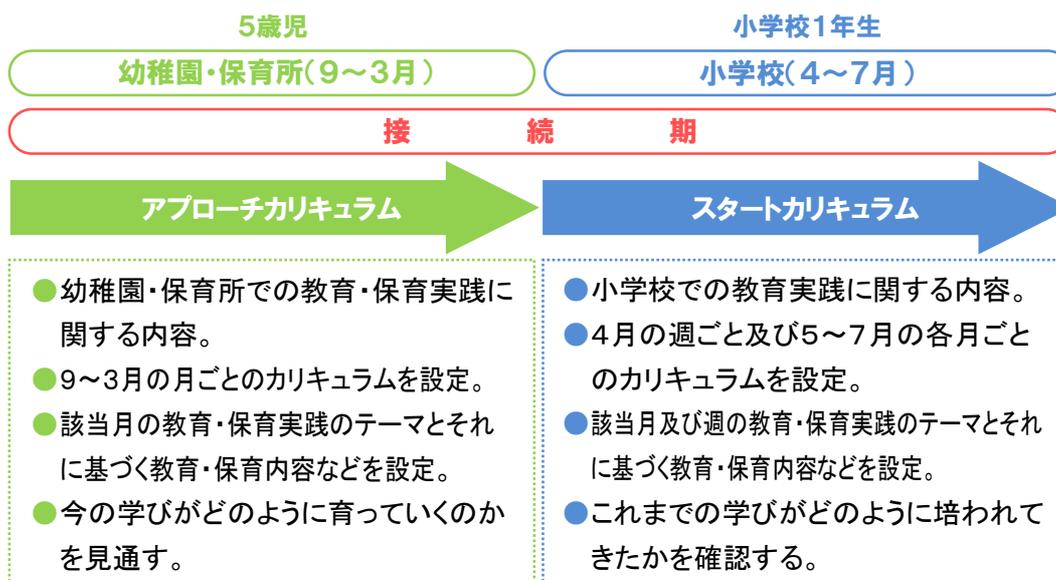
4つの育みたい力と接続期において大切にしたい視点、また小学校教育における3つの要素との関係を以下にまとめました。



## 5. 接続期のカリキュラム設定

### ● 「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」

本手引きでは、幼稚園・保育所で取り組む教育・保育実践のカリキュラムを「アプローチカリキュラム」、小学校で取り組む教育実践のカリキュラムを「スタートカリキュラム」として設定しています。



### ● カリキュラム内容

カリキュラム内容としては、月及び週ごとに子どもに関する内容（教育・保育テーマ、ねらい、大切にしたい視点など）と保育者・教師の視点（援助・指導、環境づくりなど）を記載しています。また、月・週ごとにテーマに応じた事例も記載しています。

<b>テーマ</b>	<b>保育者の援助</b>	<b>教師の指導</b>
子どもの姿や教育・保育内容のテーマ。	テーマや大切にしたい視点に向けた援助・指導内容。	
<b>ねらい</b>	<b>環境づくり</b>	
子どもに身につけてほしい力や様子など。	テーマや大切にしたい視点に向けた環境構成。	
<b>大切にしたい視点</b>	<b>接続期の工夫</b>	
接続期に大切にしたい4つの視点の内容。	円滑な接続に向けて、多様な主体との連携方策。	
<b>小学校に向けて</b>	<b>事例</b>	
接続期において、小学校に向けて大切なこと、幼稚園・保育所の経験を活かせること。	テーマやねらいに対する取組み事例紹介。その中で、「評価・反省」は事例紹介者本人の意見、「コメント」は他の人からの意見を記載。	